

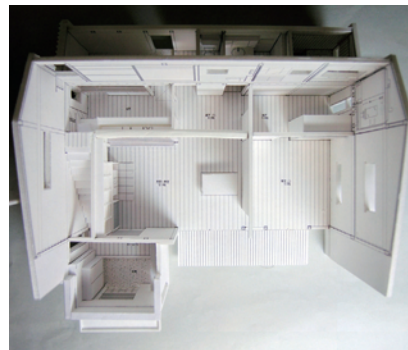


「清瀬の家」が上棟しました。2階が1階よりせり出した「せがい造り」の大きな二世帯住宅です。ダイナミックな木組の外観が現れました。深い軒とのびのびした屋根の大らかさを実現したいと思います。重厚な木組を軽快に見せるコンTEMPORアリーな住宅を目指しています。

せがい造りの骨組み ▶



「府中の家」が始まります。実施設計が終わり 1:50 の模型を制作しました。蔵戸の玄関が特徴の木組の住まいです。西側の外壁は焼杉の板張り、内部は丸太梁や堀座卓など随所に趣向を凝らしています。現代的な造形と、木組の豊かな素材感を大切に進めていきたいと思っています。



株式会社  
松井郁夫建築設計事務所  
まちづくりデザイン室  
165-0023  
東京都中野区江原町 1-46-12-102/203  
TEL 03-3951-0703 FAX 03-5996-1370  
URL <http://matsui-ikuo.jp>  
e-mail [ok@matsui-ikuo.jp](mailto:ok@matsui-ikuo.jp)



ごあいさつ  
梅雨明けとともに  
夏本番となりました。  
いかがお過ごしでしょうか。

伝統構法の行方について講演しました

「200年住宅における木造建築・伝統構法の行方」というテーマで講演しました。(住宅都市工学研究所主催)

講演会では、芝浦工大名誉教授三井所清典先生から真壁構造と瓦屋根についての調査報告がありました。東大名誉教授の坂本功先生からは伝統構法の構造設計方針が述べられ、躯体を固める方向が示されました。松井からは伝統構法の家づくりを社会の仕組として捉えることと、これまでの実験を踏まえた上で、耐震ではない免震も含めた構造解析の手法を研究して欲しいと要望しました。最後に国土交通省木造住宅振興室の越海興一室長からは制度の解説が紹介され、これからの実務に使える制度を示されました。

今回の講演を踏まえて、これからも伝統構法の設計手法に対して、随時要望や提案をしていきたいと思っています。



ヴェネツィアの夕焼

## 「上田の家」が完成しました

長野県上田市内に小さな子どもたちが思い切り走り回れる平屋の家が完成しました。柱と梁を十字に組んだ架構を活かし、広々とした間取りで、どこからでも庭に駆け降りていける、平屋ならではの魅力の詰まった木組の家です。

施工は「田舎暮らしを楽しむ家」「蛍舞う丸子の家」でお世話になった矢島工務店。

材木は木組ゼミの卒業生で、地元の田中製材工業。青木村の杉を使い、地産地消を実現しました。庭造りは、地元に戻った造園家で、東京にいらしたときからの知り合い、竹内かおるさんにお願ひしました。

地域の力が集まって完成した住まいです。ご家族の健やかな暮らしをお祈り致します。完成おめでとうございます！

▼施工の矢島さんと製材の田中さんです



所在	長野県上田市	設計監理	松井郁夫建築設計事務所
構造規模	木造平屋建	施工	矢島工務店
建築面積	149.83 ㎡	材木	田中製材工業
延床面積	127.50 ㎡	構造材	青木村産杉